

令和6年度 藤崎台保育園 事業計画

1、 保育の運営

こども庁発足より1年が経ちました。その中の「子ども基本法」の理念と藤崎台保育園の理念を職員間でしっかりと理解し保育園の子どもたちが一人一人の育ちを支え安心して保育園で過ごしていける環境、豊かな遊びと体験などを通して、生き抜く力を得られるように導いていく。保護者に対して子どもの事を共通理解できるICT等を活用していく。

また、地域の子どもたちとその保護者にも園のホームページ等で保育園の様子を知ってもらい関わりを持ち地域の役に立てる保育園としていきたい。

(1) 所在地 熊本市中央区古京町3-5

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
8名	13名	13名	12名	12名	13名	71名

《3月現在》

(3) 職員数 21名【園長・主任・主任参事・副主任・保育士(10名)
看護師・事務・管理栄養士(2名)・調理師・子育て支援員】

(4) 保育時間

	利用時間	延長保育時間
標準時間 月～金曜日	7:00～18:00	18:01～19:00
土曜日	7:30～18:00	
短時間 月～金曜日	9:00～17:00	7:01～9:00
		17:01～19:00
土曜日	9:00～17:00	

2、 基本理念

- ・一人一人の子どもが元気な体と心が育まれる保育園
- ・個人の成長と集団としての活動の充実を図る
- ・保護者と地域、職員で協力しながら、信頼される保育園を目指す

(1)

3、保育方針

- ・子どもの生活・情緒の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重する
- ・子どもを温かくみまもり、愛情豊かに、応答的に関わっていく
- ・人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにする
- ・家族の愛情に気づき、家族の愛情を大切にしようとする気持ちが育つようにする

4、保育目標

- ・自分の気持ちを伝え、相手の話も聞く
- ・保育園での決まりを知り約束を守る
- ・興味のあることを経験し楽しむ
- ・生命を大切にし、公共心、探求心等を養う
- ・食の大切さを知り興味関心を持つ
- ・異年齢児との関わりを通して、生きる力を育む

5、保育内容

乳児期

- ・健やかに伸び伸びと育つ
 - ・身近な人と気持ちが通じ合う
 - ・身近なものとの関わり感性が育つ
- ※個々の子どもたちの発達の連続性を丁寧に保障していくこと
※情緒の安定を1番に考えた保育

3歳以上児

保育の「ねらい」及び「内容」について

- ・心身の健康に関する領域・・・ 『健康』
- ・人との関わりに関する領域・・・ 『人間関係』
- ・身近な環境との関わりに関する領域・・・ 『環境』
- ・言葉の獲得に関する領域・・・ 『言葉』
- ・感性と表現に関する領域・・・ 『表現』

『健康』

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、体力をつけてい
- ・ 食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ
- ・ 生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する

『人間関係』

- ・ 自分でできることは自分です
- ・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも気づく
- ・ 友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう
- ・ 良いこと、悪いことに気づき行動する
- ・ 思いやりを持つ
- ・ 生活する中での決まりの大切さに気づき、守ろうとする
- ・ 地域の人々に親しみを持つ

『環境』

- ・ 自然に触れ親しみ生活に取り入れていく
- ・ 季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く
- ・ 身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ
- ・ 生命の尊さに気づき、労り、大切にす
- ・ 身近なものを大切にす
- ・ 日常生活の中で数量・図形・標識・文字に関心を持つ

『言葉』

- ・ 自分なりの言葉でして欲しいこと、したいことを表現する
- ・ 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す
- ・ 親しみを持って日常の挨拶をする
- ・ 絵本や物語などに興味をもち、想像する楽しさを味わう
- ・ 文字などで伝える楽しさを味わう

『表現』

- ・ 生活の中で五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を楽しむ
- ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする
- ・ 感動したことを伝えあう楽しさを味わう
- ・ 色々な素材に親しみ、工夫して遊ぶ
- ・ 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう

- ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして遊んだりする楽しさを味わう

これ以外に本園独自の『運動遊び』、『うた』を取り入れている。運動遊びについては文部科学省の「幼児期運動指針」に、毎日60分以上体を動かすことが大切と記載されていることも併せ計画をしていく

『運動遊び』

- ・体の動かし方・コントロールする力を育む
- ・瞬発力や柔軟性など身体能力を高める
- ・運動の楽しさや喜び、意欲を高める
- ・友だちと遊ぶことで協調性や社会性を培う

『うた』

- ・想像力や育むことに繋げていく
- ・音を体で表現していく
- ・曲のジャンルにこだわらず耳からの経験として親しむ
- ・季節の歌を知る、歌う

上記を踏まえ各クラスの年齢に応じた活動を行う。

※行事实行については、4歳児・5歳児による子ども会議を開き子どもたち一人一人の意見を聴きながら子どもが楽しめる行事にする。

例：こどもの日会、豆まき会、ひな祭り会などはゲーム・制作をしたい内容に分かれて行う。

※各クラス年間計画を作成⇒月間計画⇒週案計画⇒日誌⇒個別を記入

※年間行事予定表（別紙参照1）

6、保健関係

- ・健康状態並びに発育状態について、定期的・継続的にまた必要に応じて随時把握する
- ・登園及び保育中を通じて子どもの状態を観察し、疾病が疑われる状態や傷害が認められた場合、看護師の専門性を生かした対応を図り保護者に連絡する
- ・不適切な養育の兆候が見られる場合には適切な対応を図る。虐待が疑われる場合は児童相談所に通告、適切な対応を図る
- ・管理栄養士と保育士が連携を取りながら一人一人の栄養状態を共有できるように

情報交換をする。また、一人一人についての課題がある時は保護者にも伝えることで共通理解をしていく

健診

【園児】

内科健診 年2回(4月、10月) 嘱託医いえむらクリニック

歯科検診 年1回(6月) 松岡歯科医院

身体測定 毎月 胸囲(5月、9月、1月)

頭囲(0歳児のみ) 5月、10月、1月

【職員】

職員健康診断 年1回

メンタルヘルスチェック 年1回

職員検便 調理従事者のみ毎月 ノロウイルス検便(10月～3月)

※保健計画案 保健日より(隔月)

7、防災、防犯、安全管理

- ・定期的に避難訓練を実施する(火災・地震・竜巻・不審者)
- ・防災備蓄品の点検と充実
- ・交通安全教室の実施・交通安全訓練を伴う散歩
- ・遊具・固定遊具の点検(毎週土曜日)
- ・緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画
- ・ケガ防止等に関するマニュアルを作成ヒヤリハット記録の充実(事故・ケガの記録)
- ・ヒヤリハット報告書
- ・事故防止委員会(内閣府)

8、保育実習(養成校)、ナイストライ(中学生)、インターンシップ(高校生)

- ・養成校と連携の下、受け入れる
8月26日(月)～8月6日(金)・・・2人(尚綱短大)予定
- ・中高生の希望があれば受け入れる
- ・中学校での職業講話

9、職員の研修計画

- ・園内研修を計画的に行う
- ・園外の保育園連盟、保育協会などの研修に職員を派遣する
- ・キャリアアップ研修が4分野満たない職員は受講する
- ・毎日午後の連絡会を行い、クラスの子どもの様子も伝えていく

※研修計画案（別紙参照Ⅱ）

10、家庭連絡

- ・個別の連絡帳（未満児：0歳児～2歳児）
- ・保健だより（隔月）
- ・毎日クラスの活動掲示（以上児：3歳児～5歳児）
- ・記録・ドキュメンテーションの掲示（月1回全クラス）
- ・ホームページの充実

11、給食

- ・保育園独自の管理栄養士による献立の作成、バランスのとれた栄養メニューの提供を図る。また、手作りおやつも週4回提供する
- ・アレルギー対応についても保護者に必要書類を医師が記入し提出してもらい代替食の提供（0か100%の提供）
- ・アレルギーのある園児の誤飲誤食を防ぐため、食器の色分けで提供
- ・食中毒等の発生予防に、調理する際には衛生面に配慮し、食材も厳選し安全を期す
- ・食育会議、検討会議をすることで、作る人の思いと食べる側の様子を話し合う
- ・食育年間計画に基づいて進めていく（絵本給食、前歯がぶり等）

（別紙参照Ⅲ）

12、活動内容

- ・英語教室セイハ英語教室（3歳児、4歳児、5歳児）ネイティブ講師、日本人講師
- ・文字の練習（年長児のみ）
- ・生け花教室（年長児のみ）
- ・近隣への散歩（週2回）

- ・毎朝体操（冬：マラソン）
- ・保育参観　　・保護者面談(年1回　、年長児のみ2回)

1 3、小学校との連携

- ・資質・能力と心情・意欲・態度の視点で幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を基にした接続のカリキュラム作成
 - ア 健康な心と体　イ 自立心　ウ 協同性　エ 道徳性・規範意識の芽生え
 - オ 社会生活との関わり　カ 思考力の芽生え　キ 自然との関わり・生命尊重
 - ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　ケ 言葉による伝えあい
 - コ 豊かな感性と表現
- ・小学校（一新・城西等就学先となる学校）を訪問、ZOOM 等での連携
- ・幼保小中連携協議会（R.5 年度開催無）
- ・保育園から就学先の小学校への『保育所児童要録』を作成し送付
幼保小のかけ橋プログラム
- ・関係機関との連携（児童相談所、ウエルバル、ひばり園、すこやかこども相談　）

1 4、職員及び担当

園長：八高　雪枝
 主任保育士：白柿　清子
 主任参事：江口弥穂
 副主任：池田あゆみ
 保育士：柳原沙織、古閑聖良、古嶋晏菜、鶴田正美、上村希、西村香里、
 渡邊チナミ、宮原智子、野田芙由絵、前野朋子、尾里碧
 看護師：宮村　美佐
 事務：福田　宏美
 管理栄養士：久峯なつ美・三代ちあき
 子育て支援員：成田奈々
 調理師・保育補助：亀井望美

1 5、役割及び内容

○地域委員会

- ・地域の交流会に参加することで保育園の存在を知ってもらい、相談できる場所

があることを知ってもらおう。

- ・地域の子どもと保護者を含む方々と職員が関わりを持つ

「一新子育てサークル」への協力

○図書委員会

- ・保育園の絵本の貸し出しにあたっての窓口となり季節に応じた絵本の入れ替えや絵本の修理、絵本の調査（人気の絵本など）

○事故防止委員会（マネジメント）

- ・ヒヤリハット活動、事故発生時における対応、対策などを2か月に1度話し合いを行い事故解明にあたる

○ホームページ

- ・ホームページについての内容などを検討する
- ・クラスからの写真回収

○食育委員会

- ・子どもたちの食について栄養士、調理師、保育士代表と月1度話し合いをし子どもたちの食に対する興味意欲を育てていく

※ 今年度はどの委員会も人材を増やし意欲的に取り組んでいく

令和6年度 年間行事予定

別紙参照：1

4月	入園・対面式 芋の苗植え 内科検診
5月	子どもの日会 親子おみしり遠足 個人面談
6月	歯科検診 個人面談 保育参観 プール開き ピクニックの日
7月	七夕会 個人面談 保育参観 ピクニックの日
8月	保育参観 個人面談 ピクニックの日
9月	運動会 個人面談
10月	ふじっこ祭り 芋ほり遠足 保育参観 個人面談 内科検診
11月	消防署見学（年長児） 保育参観 ピクニックの日 個人面談 地域のお菓子祭り
12月	クリスマス会 生活発表会 ピクニックの日 個人面談
1月	ピクニックの日 個人面談
2月	豆まき会 保育参観個人面談 ピクニックの日
3月	ひな祭り会 卒園旅行 卒園式 ピクニックの日 お別れ遠足

※ 毎月一回、 身体測定

令和6年度 会議・研修計画

別紙参照：Ⅱ

	職員会議	園内研修	園外研修
3月	職務分担・行事担当・ 室内環境（未満児、以 上児）・子ども会議開 催（子どもの日会） 食育会議	子どもの振り返り・クラ スについて・個人目標・ 個人面談について 子どもども会議について の振り返り	
4月	運動会の内容子ども 会議の開催 食育会議	保育参観について 危 機管理について	
5月	保育参観内容・保健衛 生 ・食育会議	図書委員会 自己評価	保育研究大会
6月	子ども会議（お泊り保 育について）（七夕 会） ・食育会議	各クラスの状況 ・ 保健衛生（プール） マネジメント	全国私立保育研究大会
7月	運動会の内容 食育会議	地域委員会	キャリアアップ
8月	運動会の内容 食育会議		キャリアアップ
9月	子ども会議（発表会） 食育会議	子育て支援委員会	キャリアアップ
10月	食育会議 子ども会 議（発表会）	各クラスの状況・保健衛 生	キャリアアップ
11月	食育会議 子ども 会議（クリスマス会	マネジメント	
12月	食育会議	保護者支援・子育て支援 図書委員会	
1月	食育会議	自己評価（チェックリス ト） 行事の振り返り	
2月	食育会議	次年度計画 小学校と の接続 地域委員会	
3月	食育会議	次年度計画 環境設定 クラスの振り返り	

※ 園外研修については熊本市保育園連盟の研修等に参加